

全国高等学校インテリア科教育研究会

平成30年度 第2回協議会

平成31年 2月1日(金)

14:00~17:00

大阪市立工芸高等学校 図書室

<日 程>

14時00分~17時00分 第2回理事会

第2回理事会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 議 事
 - 1 平成30年度 事業報告
 - 2 平成30年度 中間会計報告
 - 3 平成31年度 事業計画(案)
 - 4 平成31年度 予算(案)
 - 5 役員改選
 - 6 その他
- 3 閉会のことば

参加者

理事長 理事 会計

ものコン担当 ホームページ担当 教科目研究会担当

1 平成30年度 事業報告

(1) 協議会

第1回協議会 平成30年 5月25日(金) 場所:大阪立工芸高等学校

第2回協議会 平成31年 2月 1日(金) 場所:大阪立工芸高等学校

(2) 全国高等学校インテリア科教科目研究会 (都立工芸:片山)

期 日:平成30年7月30日(月)~31日(火)

会 場:東京都立工芸高等学校・ローランド ディー.ジー.東京クリエイティブセンター

当番校:東京都立工芸高等学校 インテリア科

内 容:30日(月) 開会行事・「技能検定3級家具製作(家具手加工作業)の指導のポイント」

31日(火) 「特殊プリンター等を使用したセミナーと体験学習」・閉会行事

(3) 委員会・担当

①第12回高校生ものデザインコンテスト (市川工業:村川)

主 催:全国高等学校インテリア科教育研究会

後 援:社団法人 全国工業高等学校長協会

協 賛:千葉工業大学、日本工業大学、青山製図専門学校、専門学校ICSカレッジオブアーツ、

専門学校山脇美術専門学校、日本フリースインテリアコーディネーター協会(JAFICA)

TCCコーポレーション(タケダ事業部)、

参加資格:全国高等学校インテリア科教育研究会加盟校の生徒

課 題:クラフト部門 テーマ:自由

インテリアデザイン部門 テーマ:高校生の住まいを考える

表 彰:最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞

担 当 校:千葉県立市川工業高等学校

エントリー:6月29日必着 作品送付7月2日~13日消印有効

応募数:クラフト部門 33点・インテリアデザイン部門 158点

合計186点(昨年193点)

7月28日(土)・29日(日) 千葉県立現代産業科学館にて一般公開を行った。

7月30日(月) 教科目研究会でも公開。

※JAPANTEX事務局の厚意により、今年ものデザインコンテストの優秀作品を

「JAPANTEX2018」(11/20~22)の全イ研ブースに展示することができた。

②ホームページ担当(大阪市立工芸:篠原)

(4) 優良生徒表彰

平成30年度加盟校関係学科卒業見込み生徒。全定各1名。25校27名を表彰

(5) 賛助会員および個人会員の募集

なし

(6) 会員の表彰および顧問の推薦

なし

(7) 関係団体の催し

①第17回高校生ものづくりコンテスト九州大会（沖縄県大会）家具・工芸部門

主 催：九州地区工業高等学校協会

主 管：沖縄県高校生ものづくりコンテスト実行委員会

後 援：沖縄県高等学校文化連盟 沖縄県産業教育振興会

共 催：沖縄県教育委員会 沖縄県高等学校長協会工業部会

期 日：7月7日(土)・8日(日) 沖縄県立浦添工業高等学校

参加資格：九州地区の工業系学科を置く高等学校に在籍する生徒で、九州各県で行う代表選考会により、県代表として選出されたもの。

参加生徒：7校・7名

表 彰：最優秀賞（1位）鹿児島県立川内商工高等学校 楠元 蘭太郎

優 秀 賞（2位）福岡市立博多工業高等学校 宗田 陸月

優 良 賞（3位）大分県立鶴崎工業高等学校 安藤 朝陽

②第33回 全国高等学校インテリアデザイン展（デザイン甲子園）

主 催：(財)大川インテリア振興センター

テ ー マ：「じいじとばあばのインテリア」

応募規定：インテリアデザイン(家具・インテリアのデザイン)

エントリー：平成30年8月24日(金)

応募期間：平成30年8月6日(月)～9月7日(金)

審 査：平成30年9月13日 全イ研から審査員派遣：博多工業 白石

表 彰：文部科学大臣賞・全イ研会長賞他

表彰式：平成30年10月6日(土)〈台風の為中止〉今年度は表彰式無し

参加校：28校(前年35校) 応募点数は247点(前年331点)

③平成30年度 住まいのインテリアコーディネートコンテスト 高校生部門

主 催：公益社団法人インテリア産業協会

後 援：経済産業省

課 題：「ここから始まる！リビング空間」

規定された空間をもとに「ここから始まる！リビング空間」を提案する。

表 彰：インテリア産業協会会長賞(1点)高校生部門賞(1点)優秀賞(2点)奨励賞(5点)

会長賞の受賞生徒が在籍する高校には記念品を贈呈。

応募期間：平成30年7月5日(木)～7月25日(水)

審 査：8月3日(金) 結果発表：8月10日(金)

全イ研から審査員派遣 大阪市立工芸 六村

参加校：15校(昨年20校) 作品総数90点(昨年118点)

※優秀作品は作品集にして参加校に配布。

(8) その他

2 平成30年度 中間会計報告

(1) 一般会計 (中間報告)

①収入の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	30年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	473,921	473,921	0	
2 学校会費	250,000	250,000	0	10,000円×25校
3 個人会費	2,000	2,000	0	2,000円×1名
4 賛助会費	210,000	230,000	20,000	10,000円×23口(20社) (有)秋山木工3口、(公社)インテリア産業協会2口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	7	6	-1	利子
合 計	1,015,928	1,035,927	19,999	

②支出の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	30年度決算	比較増減	摘 要
1 事務費	100,000	58,642	-41,358	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	9,676	-10,324	切手
3 会議費	3,000	2,920	-80	湯茶等
4 渉外費	30,000	30,216	216	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	670,000	488,023	-181,977	
① 教育研究大会費	0	0	0	教育研究大会費助成
② 研究協議会費	350,000	195,520	-154,480	役員交通費
③ ホームページ運営費	80,000	75,038	-4,962	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	30,000	0	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	160,000	136,946	-23,054	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	50,000	50,519	519	地区教研費助成
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	192,928	0	-192,928	
合 計	1,015,928	589,477	-426,451	

1,035,927(収入総額) - 589,477(支出総額) = 446,450(差引残高)
 差引残高446,450は平成31年度に繰り越します。

(2) 特別会計 (中間報告)

①収入の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	30年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,382,723	1,382,723	0	
2 記念事業等積立金			0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	18	11	-7	利子
合 計	1,382,741	1,382,734	-7	

②支出の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	30年度決算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,300,000	0	-1,300,000	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	0	0	0	
3 予備費	82,741	0	-82,741	
合 計	1,382,741	0	-1,382,741	

1,382,734円(収入総額)－0円(支出総額)＝1,382,734円(差引残高)
差引残高1,382,734円は、平成31年度に繰り越します。

3 平成31年度 事業計画（案）

(1) 協議会

第1回協議会 平成31年 5月24日（金）場所：大阪市立工芸高校

第2回協議会 平成31年 8月 7日（水）場所：福岡市 リファレンス大博多ビル

第3回協議会 平成32年 2月10日（月）or 14日（金）場所：大阪市立工芸高校

(2) 第51回全国高等学校インテリア科教育研究大会（別紙参照）

期 日：平成31年8月7日（水）～9日（金）

会 場：福岡県福岡市 リファレンス大博多ビル

当番校：福岡市立博多工業高等学校 インテリア科 担当 土井 憲司

内 容：7日（水）（前日）第2回協議会（理事会） 14：00～16：30

8日（木）開会行事・講話・総会・講演・研究発表・表彰式・指導講評
9：30～17：00

9日（金）協議・表彰・閉会行事 10：00～12：00

(3) 第13回高校生ものデザインコンテスト

審査日：7/24（水） 一般公開：7/27（土）・7/28（日）千葉県立現代産業科学館
研究大会（福岡市博多）にて、表彰式・作品展示 8/8（木）

*詳細は後日担当校（市川工業高校）から発信される予定。

*次年度も優秀作品は見本市「JAPANTEX2019」（11/13～15）にて展示予定。

(4) 優良生徒表彰

例年通り行う。

(5) 賛助会員および個人会員の募集

継続して行う。

(6) 会員の表彰および顧問の推薦

継続して行う。

(7) 関係団体の催し

①第34回 全国高等学校インテリアデザイン展（デザイン甲子園）

主催：（財）大川インテリア振興センター

*詳細は後日主催者から発信される予定。 審査員派遣

②平成31年度 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 高校生部門

主催：公益社団法人 インテリア産業協会

*今年度と同時期に開催予定。詳細は後日主催者から発信される。 審査員派遣

③第18回高校生ものづくりコンテスト九州大会（沖縄）家具・工芸部門

(8) その他

4 平成31年度 予算(案)

(1) 一般会計

①収入の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	31年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	473,921	450,989	-22,932	
2 学校会費	250,000	250,000	0	10,000円×25校
3 個人会費	2,000	2,000	0	2,000円×1名
4 賛助会費	210,000	210,000	0	10,000円×21口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	7	6	-1	利子
合 計	1,015,928	992,995	-22,933	

②支出の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	31年度予算	比較増減	摘 要
1 事務費	100,000	35,000	-65,000	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	20,000	0	切手
3 会議費	3,000	3,000	0	湯茶等
4 渉外費	30,000	30,000	0	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	670,000	750,000	80,000	
① 教育研究大会費	0	100,000	100,000	教育研究大会費助成
② 研究協議会費	350,000	450,000	100,000	役員交通費
③ ホームページ運営費	80,000	10,000	-70,000	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	30,000	0	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	160,000	160,000	0	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	50,000	0	-50,000	地区教研費助成
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	192,928	154,995	-37,933	
合 計	1,015,928	992,995	-22,933	

(2) 特別会計

①収入の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	31年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,382,723	1,382,734	11	
2 記念事業等積立金			0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	18	11	-7	利子
合 計	1,382,741	1,382,745	4	

②支出の部

(単位:円)

項 目	30年度予算	31年度予算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,300,000	1,200,000	-100,000	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	0	100,000	100,000	
3 予備費	82,741	82,745	4	
合 計	1,382,741	1,382,745	4	

4 役員改選

役 職	平 成 3 0 年 度		役 職	平 成 3 1 年 度(予定)	
	氏 名	学 校 名		氏 名	学 校 名
会 長	橋本 嘉平	大阪市立工芸高等学校	会 長	橋本 嘉平	大阪市立工芸高等学校
副 会 長	宮崎 信介	福岡市立博多工業高等学校	副 会 長	(校 長)	福岡市立博多工業高等学校
理 事 長	六村 浩士	大阪市立工芸高等学校	理 事 長	六村 浩士	大阪市立工芸高等学校
副理事長	土井 憲司	福岡市立博多工業高等学校	副理事長	土井 憲司	福岡市立博多工業高等学校
理 事	加藤 幸信	宮城県工業高等学校	理 事	加藤 幸信	宮城県工業高等学校
	松原 大祐	岐阜県立高山工業高等学校		松原 大祐	岐阜県立高山工業高等学校
	山鹿 幸宏	宮崎県立宮崎工業高等学校		山鹿 幸宏	宮崎県立宮崎工業高等学校
	斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校		斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校
会 計	内田 泉	大阪市立工芸高等学校	会 計	内田 泉	大阪市立工芸高等学校
監 事	佐伯 高基	富山県立高岡工芸高等学校	監 事	佐伯 高基	富山県立高岡工芸高等学校
	山本 昌宏	熊本県立熊本工業高等学校		山本 昌宏	熊本県立熊本工業高等学校
委 員 会	*平成26年度から凍結				
HP担当	篠原 真奈	大阪市立工芸高等学校	HP担当	篠原 真奈	大阪市立工芸高等学校
ものコン担当	村川 剛啓	千葉県立市川工業高等学校	ものコン担当	村川 剛啓	千葉県立市川工業高等学校
教科目研担当	片山 路仁	東京都立工芸高等学校	教科目研担当		31年度はなし

*「HP」とは、ホームページのこと。「ものコン」とは、高校生ものデザインコンテストのこと。

*「教科目研」とは、教科目研究会のことで、大会の開催されない年度に行われる。(隔年開催)

5 その他

(1) 顧問の選任について

※本人の承諾を確認した方のみを次年度以降の顧問とする。

- ・理事会の推薦により顧問を置くことができる。(会則第9条)
- ・理事会において推薦し、総会の承認を得る。(運営内規第4-3)

輪番表

2019.03.1

	平成	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
	新元号									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	西暦	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1	弘前工業		○	○	○								◇	○	○		★									
2	水沢工業					○	○								◇	○	○									
	能代工業																									
3	秋田美大附		◇					○	○								◇	○	○			★				
4	宮城県工	△	△		◇					○	○			★				◇	○	○					★	
5	市川工業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6	都立工芸			△	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	山梨峡南				△	△																				
	長野白田	★	○	○	○																					
7	木曾青峰	○	○				△	△			◇	★				○	○								◇	
8	高岡工芸			○	○					△	△		◇					○	★	○		★				
9	静岡科学					○	○					△	△		★					○	○					
10	名古屋工芸			★			○	○						△	◇		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
11	高山工業		◇							○	○					△	△	◇			★				○	○
12	伊賀白鳳				◇		○		★			○	○			★		△	△	◇						
	福井工大附																									
13	大阪工芸				★	◇		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			△	△	◇				
14	高松工芸			△	△						◇					○	○						◇	△	△	
15	博多工業	○	○	○	○	△	△		○		★		◇					○	○						◇	
16	長崎工業	○	○					△	△						◇					○	○					
17	熊本工業		★	○	○					△	△						◇					○	○			
18	八代工業					○	○						★							◇					○	○
19	鶴崎工業						○	○						△	△						◇		★			
20	宮崎工業			○		★			○	○					△	△							◇			
21	都城工業		◇									○	○					△	△						◇	
22	隼人工業				◇									○	○					△	△					
23	川内商工						◇									○	○					△	△			
24	鹿児島工								◇									○	○					△	△	
25	浦添工業										◇									○	○					

- ◎は事務局 ★は研究大会(総会) ○は理事 △は監事 ◇は研究発表
 ◎◎◎◎は会長・理事長 ☆は副会長・副理事長 □はものコン担当 ★は教科目研究会担当
 ※加盟校の増減、各校の事情等により支障が出た場合は、その都度理事会で協議する。
 ※上記の理由で今後輪番表が変更されることもあるため、最新の輪番表により運用する。
 覚え書き・研究大会と教科目研究会は隔年で開催する
 ・研究大会と教科目研究会、理事・監事・研究発表は加盟校で輪番で担当する
 ・閉校・閉科による退会で開催に支障が出る場合は基本的に前倒しとし、入会の場合も含めその都度理事会で協議する
 ・事務局は理事会等の交通の利便性を考えて当面のあいだは市川工業・都立工芸名古屋市立工芸・大阪市立工芸で交代で担当する
 ・ものデザインコンテストは後援団体の交通の利便性を考えて当面の間は市川工業と都立工芸で担当する